

七尾市のまちづくりの基本方針について

将来像の実現に向けて、次の4つのまちづくりの基本方針を設定し、将来像の実現に向けて取り組みます。

(1) 学ぶ ～能登の未来を担う ひとづくり～

七尾市のまちづくりの基本はひとづくりです。地域間で競える優秀な人材を生み出すことこそが、この地域の活躍のカギを握ると言っても過言ではありません。地域社会を支えるのも「人」、祭りや伝統文化を継承するのも「人」であり、自然を守り、郷土を未来に引き継ぐのも「人」です。

七尾市のまちづくりは、「能登の未来を担う ひとづくり」を最も重視します。「能登人」としての誇りと郷土への責任感を持って、自ら考え行動する、世界を舞台に活躍しうる人材の輩出を目指すものです。

(2) 興す ～ 経済的自立を可能にする 産業活力づくり ～

七尾市における都市経営を健全かつ意欲的にすすめるためには、産業面での活力再生が必要不可欠です。七尾市の有するあらゆる地域資源、施策、ネットワーク、農林水産資源をいかし、商工業や観光に係る地域おこしに取り組むなど産業の発展が必要であり、これまで各地区において講じてきた経験をいかし、七尾市全体の活性化に向けた広がりや厚みを持った展開を推進します。

また、企業を誘致し、地場産業や伝統技術の中核とした新たな事業を促すことも必要です。

七尾市のまちづくりは、地域の「経済的自立を可能にする 産業活力づくり」に向けて、最大の効果が得られるよう効果的に投資し、文化的な豊かさや行政サービスの質を確保しつつ、強固な経済基盤を整えます。

(3) 笑う ～ 笑顔で住み続けられる やすらぎづくり ～

少子高齢化が進む七尾市では、市民が健康で安心して住み続けられる環境を整えることが大きな課題であり、既存の行政施設の効果的活用はもとより、地域コミュニティの強化を図るなど、市民、事業者、行政の手づくりで心温まるまちづくりを目指します。

七尾市のまちづくりは、「笑顔で住み続けられる やすらぎづくり」という目標に向け、市民のニーズの変化に的確に対応するための総合的な取り組みを推進します。

(4) 結ぶ ～ 人・地域・世界をつなぐ連携づくり ～

七尾市には極めて個性的で魅力あふれる地域（集落）が多く、自然環境はもとより、七尾城などの歴史資源や祭礼行事などの伝統文化が随所に点在しています。

こうした地域固有の文化や環境を、次世代に引き継いでいくことが七尾市全体の使命です。

従来から、仕事・学業・市民活動・生活などあらゆる場面で、地域を超えた住民レベルの交流が行われてきており、今後も日常的な市民の「ふれあい」はもとより、「もの」「文化」を媒体に地域間連携を一層強めていきます。

海あり、山あり、文化あり。そして、鮮やかな四季に恵まれる能登は、魅力を凝縮した第一級の土地です。「能登はひとつ」を合言葉に、能登半島のまちとの交流を強め、道路や港、空港等をいかした「人・地域・世界をつなぐ連携づくり」により「小さな世界都市」を目指します。